

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】令和6年1月30日(2024.1.30)

【公開番号】特開2022-23958(P2022-23958A)

【公開日】令和4年2月8日(2022.2.8)

【年通号数】公開公報(特許)2022-023

【出願番号】特願2021-178868(P2021-178868)

【国際特許分類】

C 07 C 381/00(2006.01)	10
A 61 P 43/00(2006.01)	
A 61 P 35/00(2006.01)	
A 61 K 31/44(2006.01)	
C 07 D 213/76(2006.01)	
A 61 K 31/4427(2006.01)	
C 07 D 405/12(2006.01)	
A 61 K 31/18(2006.01)	
A 61 K 31/341(2006.01)	
C 07 D 307/14(2006.01)	
A 61 K 31/337(2006.01)	20
C 07 D 305/08(2006.01)	
A 61 K 31/351(2006.01)	
C 07 D 309/08(2006.01)	
A 61 K 31/4436(2006.01)	
C 07 D 409/12(2006.01)	
A 61 K 31/444(2006.01)	
C 07 D 213/82(2006.01)	
A 61 K 31/4412(2006.01)	
C 07 D 213/81(2006.01)	
C 07 D 471/04(2006.01)	30
A 61 K 31/4433(2006.01)	
A 61 K 31/443(2006.01)	
C 07 C 311/08(2006.01)	
C 07 C 311/14(2006.01)	
C 07 C 311/10(2006.01)	

【F I】

C 07 C 381/00		
A 61 P 43/00	105	
A 61 P 35/00		
A 61 P 43/00	111	40
A 61 K 31/44		
C 07 D 213/76		C S P
A 61 K 31/4427		
C 07 D 405/12		
A 61 K 31/18		
A 61 K 31/341		
C 07 D 307/14		
A 61 K 31/337		
C 07 D 305/08		
A 61 K 31/351		50

C 0 7 D 309/08
A 6 1 K 31/4436
C 0 7 D 409/12
A 6 1 K 31/444
C 0 7 D 213/82
A 6 1 K 31/4412
C 0 7 D 213/81
C 0 7 D 471/04 1 0 8 X
A 6 1 K 31/4433
A 6 1 K 31/443
C 0 7 C 311/08
C 0 7 C 311/14
C 0 7 C 311/10

10

【手續補正書】

【提出日】令和6年1月22日(2024.1.22)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

20

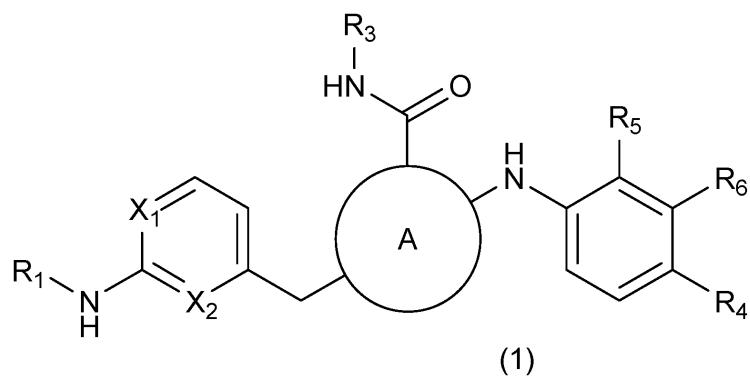
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

下記一般式(1)で表される化合物若しくはその薬学上許容され得る塩又は前記化合物若しくは塩の薬学上許容され得る溶媒和物。

【化 1】



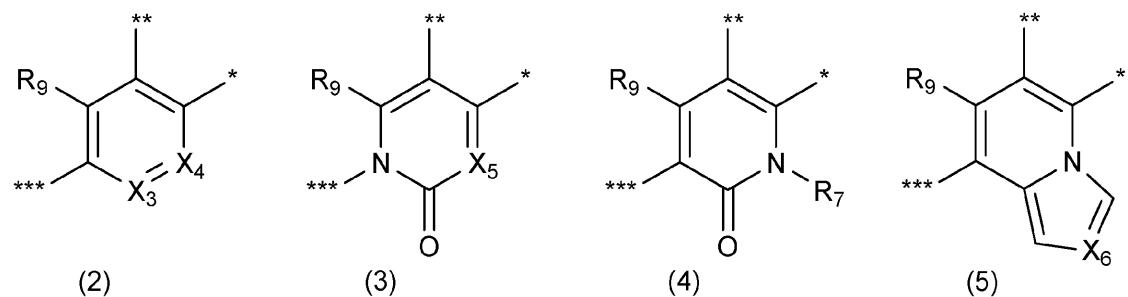
30

[式中、

環 A は、下記一般式 (2)、(3)、(4) 又は (5) (ここで、*、** 及び *** が付された結合手はそれぞれ -NH-、-CONH- 及び -CH₂- に結合している。) で表される基であり、

40

【化 2】



50

X_1 、 X_2 、 X_3 、 X_4 、 X_5 及び X_6 は各々独立して -CR₂- 又は -N= であり、
 R_2 は水素原子、ハロゲン原子又は C₁ ~ 6 アルキル基であり、
 R_1 は -S(=O)₂-NH-R₈ 又は -S(=O)₂-R₈ であり、
 R_8 は、水素原子、C₁ ~ 6 アルキル基（当該 C₁ ~ 6 アルキル基はハロゲン原子、ヒドロキシ基、C₁ ~ 6 アルコキシ基、C₃ ~ 6 シクロアルキル基又は C₃ ~ 6 ヘテロシクロアルキル基で置換されていてもよい。）、单環式若しくは二環式の C₃ ~ 6 シクロアルキル基（当該 C₃ ~ 6 シクロアルキル基は C₁ ~ 6 アルキル基又は C₁ ~ 6 アルコキシ基で置換されていてもよい。）又は单環式若しくは二環式の C₃ ~ 6 ヘテロシクロアルキル基であり、

R_3 は、水素原子、C 1 ~ 6 アルキル基（当該 C 1 ~ 6 アルキル基はハロゲン原子、ヒドロキシ基又は C 1 ~ 6 アルコキシ基で置換されていてもよい。）、C 3 ~ 6 シクロアルキル基（当該 C 3 ~ 6 シクロアルキル基はハロゲン原子又は C 1 ~ 6 アルキル基で置換されていてもよい。）又は C 1 ~ 6 アルコキシ基（当該 C 1 ~ 6 アルコキシ基はハロゲン原子、ヒドロキシ基又は C 1 ~ 6 アルコキシ基で置換されていてもよい。）であり、

R₅ はハロゲン原子又はC1～6アルキル基であり、

R₆は水素原子、ハロゲン原子又はC1～6アルキル基であり、R₄は水素原子、ハロゲン原子、C1～6アルキル基、C2～7アルケニル基、C2～7アルキニル基、C3～6シクロアルキル基又はC1～6アルキルチオ基であるか、又はR₆及びR₄は、それらが結合している炭素原子と一緒にになって不飽和ヘテロ5員環を形成しており、

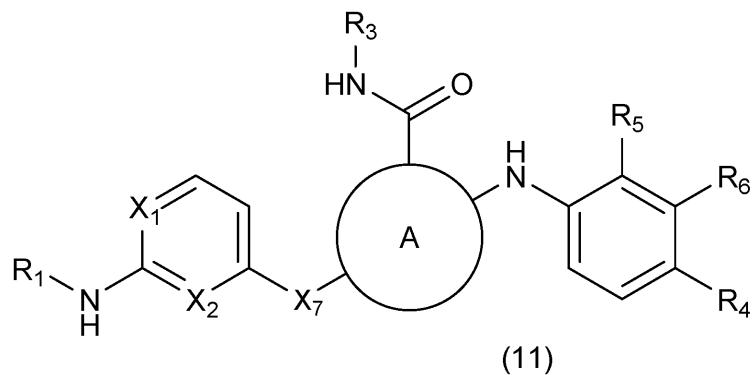
R₇ は水素原子又はC1～6アルキル基であり、

R₉は水素原子、ハロゲン原子又はC1～6アルキル基である。]

【請求項2】

下記一般式(11)で表される化合物若しくはその薬学上許容され得る塩又は前記化合物若しくは塩の薬学上許容され得る溶媒和物を有効成分として含有するRAF/MEK複合体の安定化剤。

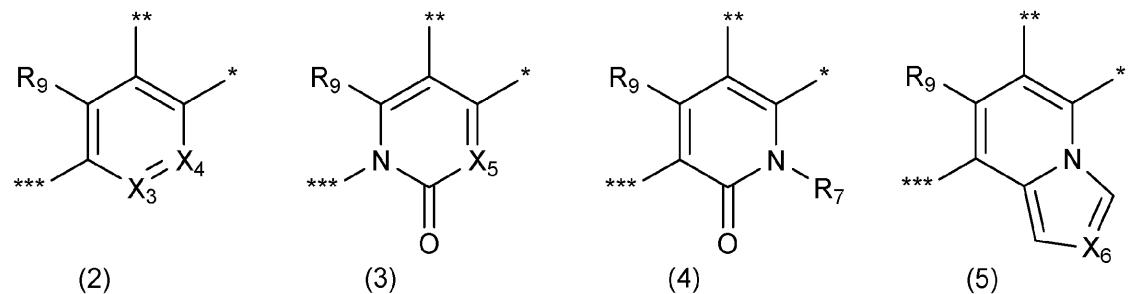
【化 3】



[式中、

環 A は、下記一般式 (2)、(3)、(4) 又は (5) (ここで、*、** 及び *** が付された結合手はそれぞれ -NH-、-CONH- 及び -X₇- に結合している。) で表される基であり、

【化4】



X₁、X₂、X₃、X₄、X₅及びX₆は各々独立して - C R₂ = 又は - N = であり、R₂は水素原子、ハロゲン原子又はC₁～6アルキル基であり、X₇は - (C H₂)_m - 又は - O - であり、mは1、2又は3であり、R₁は - S (= O)₂ - NH - R₈又は - S (= O)₂ - R₈であり、R₈は、水素原子、C₁～6アルキル基(当該C₁～6アルキル基はハロゲン原子、ヒドロキシ基、C₁～6アルコキシ基、C₃～6シクロアルキル基又はC₃～6ヘテロシクロアルキル基で置換されていてもよい。)、単環式若しくは二環式のC₃～6シクロアルキル基(当該C₃～6シクロアルキル基はC₁～6アルキル基又はC₁～6アルコキシ基で置換されていてもよい。)又は単環式若しくは二環式のC₃～6ヘテロシクロアルキル基であり、

R₃は、水素原子、C₁～6アルキル基(当該C₁～6アルキル基はハロゲン原子、ヒドロキシ基又はC₁～6アルコキシ基で置換されていてもよい。)、C₃～6シクロアルキル基(当該C₃～6シクロアルキル基はハロゲン原子又はC₁～6アルキル基で置換されていてもよい。)又はC₁～6アルコキシ基(当該C₁～6アルコキシ基はハロゲン原子、ヒドロキシ基又はC₁～6アルコキシ基で置換されていてもよい。)であり、

R₅は水素原子、ハロゲン原子又はC₁～6アルキル基であり、

R₆は水素原子、ハロゲン原子又はC₁～6アルキル基であり、R₄は水素原子、ハロゲン原子、C₁～6アルキル基、C₂～7アルケニル基、C₂～7アルキニル基、C₃～6シクロアルキル基又はC₁～6アルキルチオ基であるか、又はR₆及びR₄は、それらが結合している炭素原子と一緒にになって不飽和ヘテロ5員環を形成しており、

R₇は水素原子又はC₁～6アルキル基であり、

R₉は水素原子、ハロゲン原子又はC₁～6アルキル基である。]

【請求項3】

環Aは一般式(2)又は(4)で表される基であり、

X₇は - C H₂ - であり、

R₈は、水素原子、C₁～6アルキル基(当該C₁～6アルキル基はハロゲン原子、ヒドロキシ基又はC₁～6アルコキシ基で置換されていてもよい。)又は単環式のC₃～6シクロアルキル基(当該C₃～6シクロアルキル基はC₁～6アルキル基で置換されていてもよい。)であり、

R₃は、水素原子、C₁～6アルキル基、C₃～6シクロアルキル基又はC₁～6アルコキシ基(当該C₁～6アルコキシ基はヒドロキシ基で置換されていてもよい。)であり、

R₅はハロゲン原子又はC₁～6アルキル基であり、

R₆は水素原子、ハロゲン原子又はC₁～6アルキル基であり、R₄はハロゲン原子又はシクロプロピル基であり、

R₇は水素原子又はメチル基である、

請求項2に記載のR A F / M E K複合体の安定化剤。

【請求項4】

一般式(11)で表される化合物は下記一般式(6)で表される化合物である、請求項2に記載のR A F / M E K複合体の安定化剤。

10

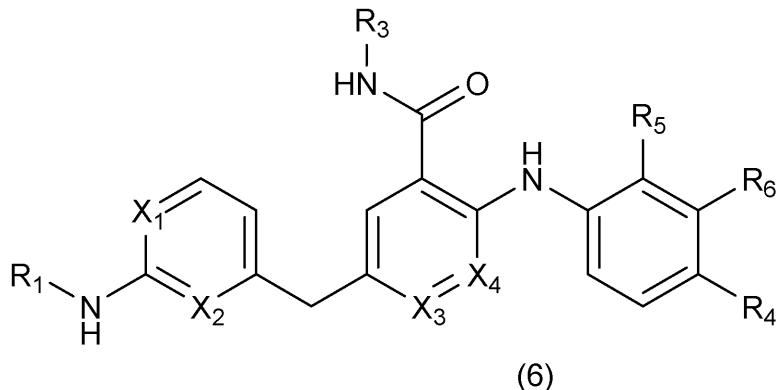
20

30

40

50

【化5】



10

20

30

40

50

[式中、

X₁、X₂、X₃及びX₄は各々独立して-CR₂=又は-N=であり、

R₂は水素原子、ハロゲン原子又はC₁～6アルキル基であり、

R₁は-S(=O)₂-NH-R₈又は-S(=O)₂-R₈であり、

R₈は、水素原子、C₁～6アルキル基（当該C₁～6アルキル基はハロゲン原子、ヒドロキシ基又はC₁～6アルコキシ基で置換されていてもよい。）又は単環式のC₃～6シクロアルキル基（当該C₃～6シクロアルキル基はC₁～6アルキル基で置換されていてもよい。）であり、

R₃は、水素原子、C₁～6アルキル基、C₃～6シクロアルキル基又はC₁～6アルコキシ基（当該C₁～6アルコキシ基はヒドロキシ基で置換されていてもよい。）であり、

、R₅はハロゲン原子又はC₁～6アルキル基であり、

R₆は水素原子、ハロゲン原子又はC₁～6アルキル基であり、R₄はハロゲン原子又はシクロプロピル基である。]

【請求項5】

R₂は水素原子又はハロゲン原子であり、

R₈は、C₁～6アルキル基（当該C₁～6アルキル基はハロゲン原子又はC₁～6アルコキシ基で置換されていてもよい。）又は単環式のC₃～6シクロアルキル基（当該C₃～6シクロアルキル基はC₁～6アルキル基で置換されていてもよい。）であり、

R₃は、水素原子、C₁～6アルキル基、C₃～6シクロアルキル基又はC₁～6アルコキシ基（当該C₁～6アルコキシ基はヒドロキシ基で置換されていてもよい。）であり、

、R₅はハロゲン原子であり、

R₆は水素原子であり、R₄はハロゲン原子又はシクロプロピル基である、

請求項2～4のいずれか一項に記載のRAFT/MEK複合体の安定化剤。